

Webでの誤公開による個人情報流出について

1 学校名 宮城県宮城広瀬高等学校

2 発生日時 令和3年5月20日（木）午後2時30分頃から
令和3年5月28日（金）午前8時45分頃まで

3 概要

- 令和2年度の進路決定状況を、同校のWebページに掲載する際に、誤ってエクセルファイルのデータをそのまま掲載した。エクセルファイルには、集計結果一覧表とは別のシートに同校令和2年度第3学年在籍生徒全員分の進路決定状況等の個人情報が掲載されていた。
- 令和3年5月28日（金）午前8時30分頃に、匿名の一般県民（女性）から学校に対して指摘があり発覚した。発覚後、すぐにWeb上のエクセルファイルの掲載を停止した。
- 流出したのは、同校令和2年度第3学年在籍生徒272名分の氏名、受験大学名などの進路先等の個人情報である。
- 現在のところ、情報流出にともなう二次被害の報告は受けていない。

4 事故の要因

- 掲載は紙媒体での決裁を経た後に、同校の教員が行ったが、本来は該当ページをPDFファイルに変換して掲載するべきところを、誤ってエクセルファイルのまま掲載した。
- 掲載に関する作業は当該教員が単独で行い、他の教員による確認は行わなかった。

5 対応

- 同年5月28日（金）午前8時45分頃、事故発覚と同時にWebページ上のエクセルファイルの掲載を停止した。
- 該当者に対しては、1人1人電話等で謝罪し、後日改めて文書にて謝罪するとともに、心のケアに配慮する予定である。在校生徒及び保護者に対しても事実関係を説明し謝罪する。
- 個人情報が流出したことで、該当者及び在校生徒や保護者個人に対する問合せなどがあつた場合には、校内に相談窓口を設置し対応することとする。

6 再発防止策

- Webへの情報を掲載する際には複数の教員が確認しながら作業を実施するとともに、掲載直後に掲載内容に誤りがないか確認するなど、再発防止に努める。
- 情報セキュリティポリシーを遵守するよう、改めて教職員に徹底する。